

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うものです。本定例会では18人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細につきましては富士市ウェブサイト上の本会議の議会中継（録画放送）や6月末ごろに発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイト、図書館、まちづくりセンターで御覧になれます。

えんどう 遠藤 もりまさ 盛正	1. 富士市のエンディングノートに対する取組について
もちつき 望月 とおる 徹	1. 葬儀後の諸手続を専用窓口化することについて
さの 佐野 ちあき 智昭	1. 市が関与するイベント等を戦略的に、そしてより効果的に実施するための方策について
しもだ 下田 よしひで 良秀	1. 新型コロナウイルス感染症に対する富士市の対応について 2. 駿河湾フェリー寄港地としての田子の浦港について
おおた 太田 やすひこ 康彦	1. 森林環境譲与税と富士市の林業行政について
こいけ 小池 としあき 智明	1. CNFの研究開発に取り組む高等教育機関との連携・誘致について 2. 工業系用途地域内の低未利用地の開発促進について
よしかわ 吉川 たかゆき 隆之	1. 複合商業施設の誘致について
うんの 海野 しゅうぞう 庄三	1. 官民協働の時代を迎えた中での市職員のまちづくり地区担当班の位置づけと役割について 2. ICT社会を迎えた中での高齢者を守る消費生活センターの機能強化について
はせがわ 長谷川 祐司	1. 富士市の緑化事業、街路樹等の管理、整備について 2. 富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況について
ささかわ 笹川 あさこ 朝子	1. 富士市における「ご遺族手続き支援コーナー」の開設について 2. 博物館の実習室を手すき和紙工房に
こいけ 小池 よしはる 義治	1. 学校等のウェブサイトに共通の管理システムを導入してはどうか 2. 新環境クリーンセンター併設の温浴施設の入浴ルールと配慮について 3. 専門性を備えた民間人材の任期付採用を拡大してはどうか
やました 山下 いづみ	1. アール・ブリュット～障害者の芸術文化を広めることについて～ 2. 青少年のネットリスクの対応と情報モラル教育について
おざわ 小沢 えいこ 映子	1. 集団式知能検査の実施について 2. 富士市のインクルーシブ教育のこれからは
いのうえ 井上 たもつ 保	1. 富士市地区まちづくり活動推進条例制定の意義と効果について
おの ゆみこ 小野由美子	1. 振り込め詐欺・悪質商法から市民を守るためのさらなる施策の展開について
とりい 鳥居 いくよ 育世	1. 乳がん検診の拡充とがん検診率の向上について
いで 井出 はるみ 晴美	1. 教育現場におけるSDGs教育の推進について
はぎの 萩野 もとゆき 基行	1. 階段への滑り止めの設置について 2. 「紙のまち富士市」として、紙を利用した環境保全について

ユニバーサル就労推進特別委員会

令和2年1月27日 ユニバーサル就労の推進についてを議題として開催。

問 2つの支援グループの業務委託期間が異なる理由は来年度再編するユニバーサル就労支援センターでは、2つのグループを設け、それぞれ業務委託することのようですが、委託期間が相談支援グループは3年間、就労支援グループは1年間と異なるのは、どのような理由ですか。

答 2つの事業は、国の異なる補助を財源とし、それぞれ交付期間が異なるためです。現在、相談支援グループの事業は、生活困窮者自立相談支援事業費等負担金などを、就労支援グループの事業は、地方創生推進交付金の採択に向け、国と協議しています。

●令和2年度以降の地方創生推進交付金の採択に向けた新たな取組は

問 3年間の地方創生推進交付金の交付期間が本年度で終わることから、2年度以降の地方創生推進交付金の採択に向け、新たに企業版ふるさと納税を活用した延長を目指すとのことですが、どのような制度内容ですか。

答 企業版ふるさと納税を募り、条件をクリアした上で地方創生推進交付金を申請する方法があるため、その可能性について検討しました。合計200万円以上の寄附金を市外に本社を置く企業から集めるなどの条件があるため、協力企業や、それ以外の企業への会社訪問を重ねた結果、200万円以上の寄附のめどが立ったことから、国へ交付申請書を提出しました。

●ユニバーサル就労推進事業の協力企業に対する新たな取組の検討を

要望 協力企業が130社までに増え、ユニバーサル就労に対する認識が確実に広がっていると感じますが、協力企業として名を連ねるだけで、就労の実現や理解の面で、実態が伴わない企業の存在を懸念する声も聞かれるので、今後は、協力企業に対し積極的なアプローチに努め、協力企業の成熟が望めるような取組を検討してください。



シグマファームとういんの取組を伺う

ユニバーサル就労推進特別委員会の視察報告

令和元年12月17日～18日

短時間雇用創出コーディネーターが協力企業を訪問し、業務を切り出したことで、これまで市役所のほか、高齢者施設、自動車部品の販売会社、飲食店など、21社、41人の就労につながっています。障害のある方の就労については、就労継続支援B型事業所から一般就労に移行する場合でも、一定の要件を満たせば、B型事業所を継続利用できる配慮をしたとのことでした。

超短時間雇用の取組について
(兵庫県神戸市)
神戸市では、障害のある方や、就労や生活に困っている方の多様な働き方の創出を目指し、29年度から東京大学との共同事業で週20時間未満の雇用を創出する取組を開始しました。

農福連携の取組について
(三重県東員町)
シグマファームとういんでは、障害のある方が、野菜などの栽培を通じて、社会に出るきっかけをつくるため、農福連携事業に取り組んでいるほか、地域への貢献活動も活発に行っており、農業法人や介護施設、特例子会社などへの就労につながっています。



神戸市の取組を伺う

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

特集

2月定例会

常任委員会の審査

代表質問・一般質問

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ